

三重県教育委員会指定

平成22年度学校評価システム構築事業

「小中学校における学校評価システム構築のための実践研究事業」



～ 「学校評価システム構築プラン」の実践 ～



平成23年3月

松阪市教育委員会

はじめに

学校評価は、各学校・園が、自らの教育活動や学校運営について目指すべき目標を設定し、その達成状況を検証することによって、組織的かつ継続的に学校・園の教育力を高めていくための取組であります。また、学校・家庭・地域が情報を共有し、協働して子どもたちを育てることにより、地域の教育力が高まることが期待されるものであります。

このようなねらいから、平成14年4月より施行された小学校設置基準等において、自己評価の実施とその結果の公表に努めることとし、平成19年6月には学校教育法、同年10月に学校教育法施行規則が改正され、自己評価の実施とその結果の公表が義務づけられ、学校関係者評価が努力義務と規定されているところです。

また、三重県では、各学校が児童生徒や保護者、地域住民から信頼される活力ある学校づくりを推進するため「三重県型学校経営品質」を取り入れ、学校長のリーダーシップのもと、「学習者本位」「教職員重視」「社会との調和」「独自能力」の基本理念に沿って、継続的な改善向上活動に取り組まれています。これらの取組をすすめるにあっては、「学校評価ガイドライン」(文部科学省編)、「学校経営の改革方針ガイド」(三重県教育委員会編)が、その指針となるところです。

このたび、松阪市教育委員会では、平成21年度から2年間にわたり、三重県教育委員会より「学校評価システム構築事業」の委託を受け、研究実践を推進してまいりました。ここにあげる「学校評価システム構築モデル」は、平成21年度における研究をまとめた「学校評価システム構築プラン」に基づき、平成22年度に実践した内容をまとめ作成したものであります。

この学校評価システムを構築する過程において改めて気づいたことは、学校評価の取組を通して得られるものは、学校経営の品質向上だけではなく、地域住民や保護者と子どもたちの教育について真摯に語り合うことによる地域社会の教育力向上でありました。

今後、ここにある学校評価システムが、多くの学校・園において学校経営改善向上活動の指針となることを期待するとともに、地域住民や保護者と教職員のコミュニケーションツールとなることを大いに期待するものであります。

最後になりますが、作成にあたっては、三重県教育委員会をはじめ、本巢市教育委員会、かつらぎ町教育委員会、天理市教育委員会、東部中学校区の各校・園の関係者など多くの方々に、ご指導ご協力いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

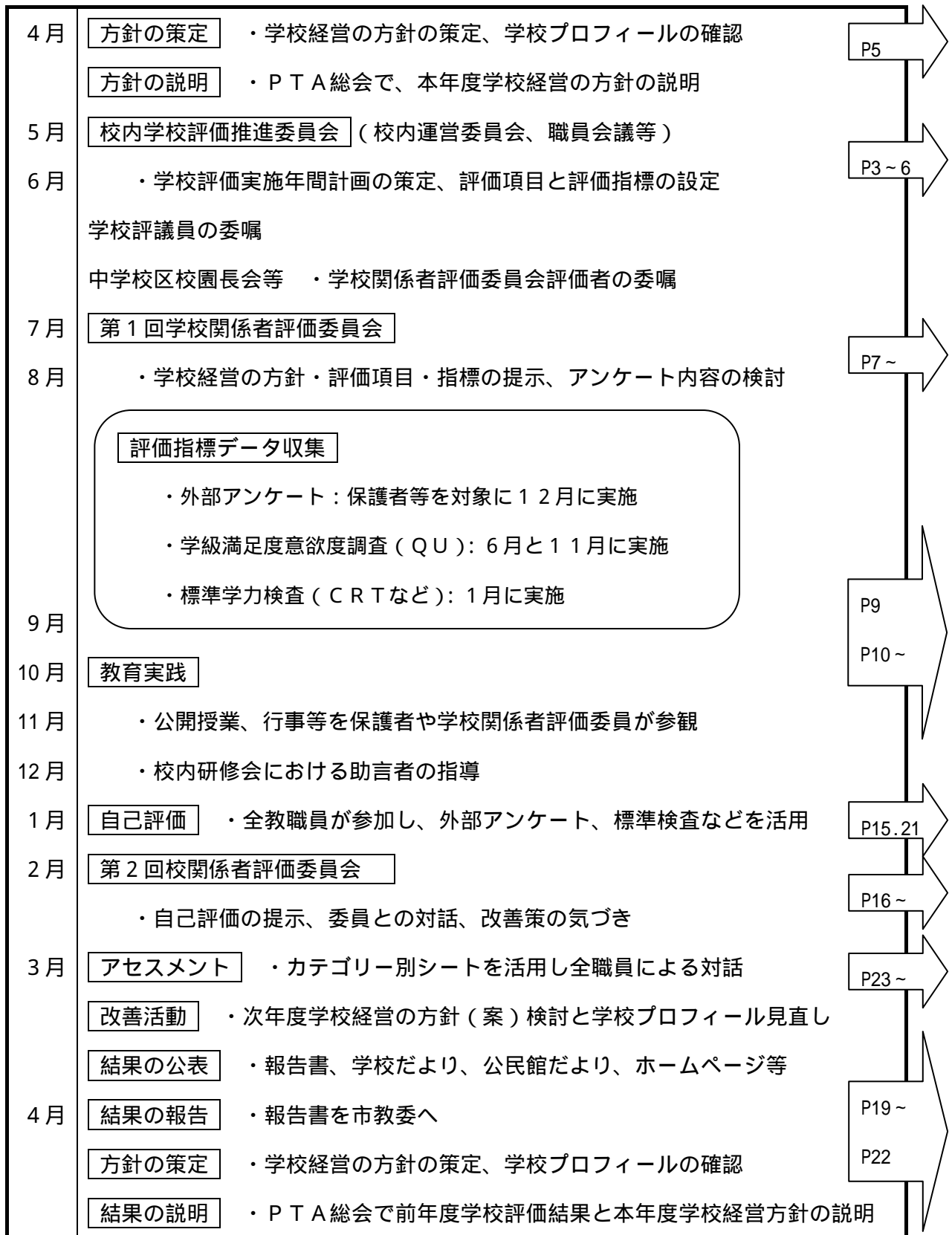
平成23年3月

松阪市教育委員会教育長 **小林 壽一**

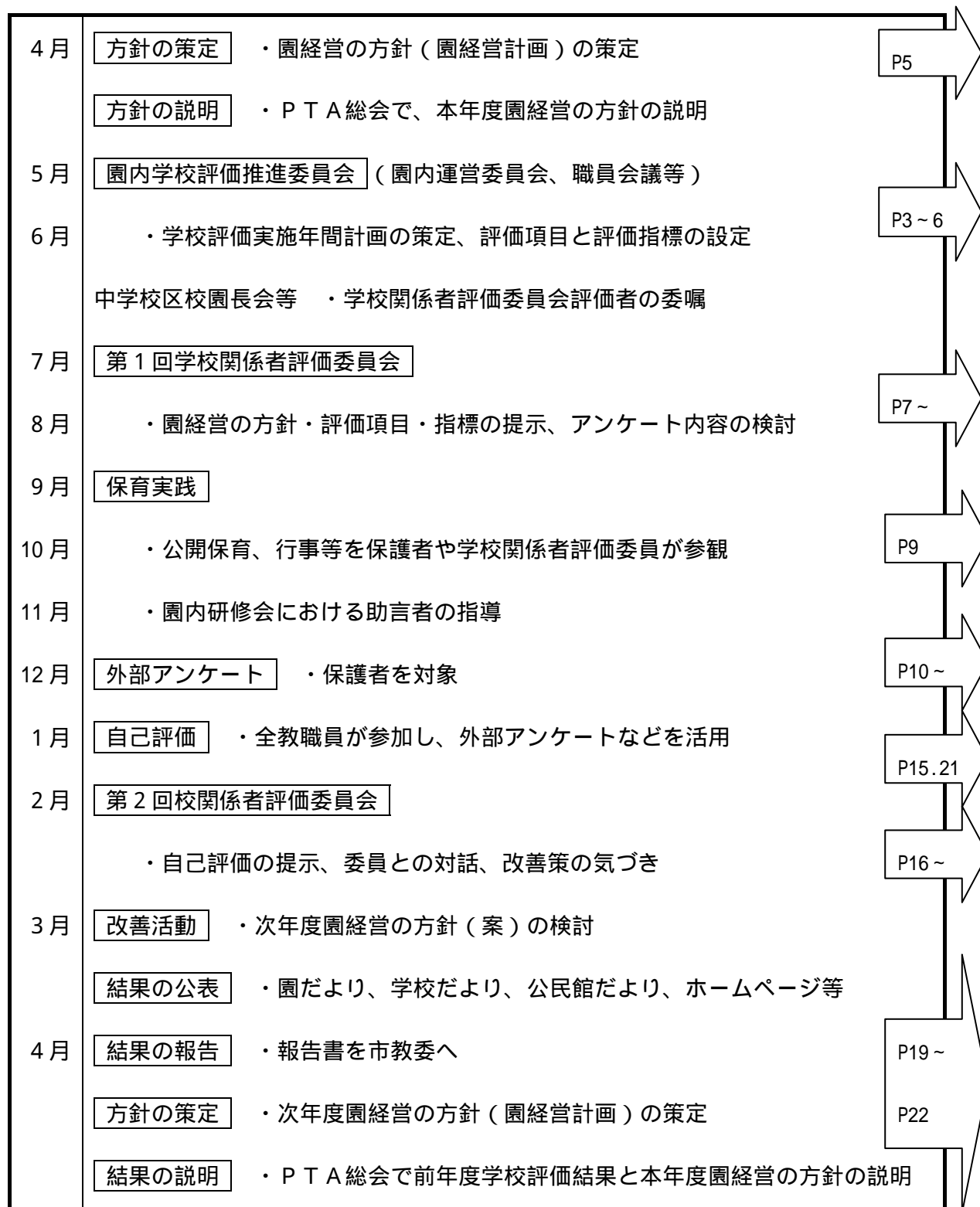
も く じ

年間計画のモデル	…	1
学校評価推進委員会のモデル	…	3
実施計画書のモデル	…	4
「学校（園）経営の方針」のモデル	…	5
評価指標・目標設定のモデル	…	6
第1回学校関係者評価委員会のモデル	…	7
学校評価と教育実践の関連モデル	…	9
外部アンケートのモデル	…	10
項目別に担当分掌で行う評価モデル	…	15
第2回学校関係者評価委員会のモデル	…	16
学校評価書のモデル	…	19
結果の公表・公表・報告のモデル	…	22
学校経営アセスメントのモデル	…	23
参考資料		
【様式No.1】学校評価年間実施計画書	…	27
【様式No.2】学校経営の方針	…	28
【様式No.3】評価指標と達成目標の設定	…	29
【様式No.4】項目別自己評価シート	…	30
【様式No.5】学校評価書	…	31
【様式No.6】自己評価書	…	32
松阪市学校評価実施要項	…	33
松阪市立学校評議員制度実施要項	…	34

年間計画のモデル【小中学校】



年間計画のモデル【幼稚園】



学校評価推進委員会のモデル

役割

学校評価にかかる年間計画に沿って、その業務を組織的に執り行う。

- ・ 学校（園）経営の方針の検討
- ・ 評価項目、評価指標、達成目標の検討
- ・ 外部アンケートや標準検査など評価指標にかかる情報の収集
- ・ 学校関係者評価委員会に出席
- ・ 自己評価や学校関係者評価の報告書の作成
- ・ 公表資料の作成 など

構成

「学校評価システム構築プラン」(3P)参照

大規模校のモデル

- ・ 校務分掌の1つに学校教育改革を担当するチームとして位置づけて組織する。

中規模校のモデル

- ・ 管理職と各校務分掌の代表者によって構成される運営委員会や企画委員会などがその役割を兼ねる。

小規模校のモデル

- ・ 管理職と職員を代表する主任等により構成する。

実施計画書のモデル

【様式 1】

平成 年度 学校評価年間実施計画書

松阪市立 学校（幼稚園）

年間計画

4月	学校経営方針の策定と説明
5月	校内学校評価推進委員会
6月	学校評議員、学校関係者評価委員会評価者の委嘱
7月	第1回学校関係者評価委員会
9月	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>評価指標データ収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部アンケート：保護者等を対象に12月に実施 ・学級満足度意欲度調査（QU）：6月と11月に実施 ・標準学力検査（CRTなど）：1月に実施 </div>
10月	
11月	
12月	
	公開授業（10/2）、文化祭（11/3）・助言者による校内研修会（11/21）
1月	自己評価
2月	第2回校関係者評価委員会
3月	改善活動、結果の公表と報告（翌4月：結果の説明）

学校関係者評価の評価者

名 前	所属・役職	備 考
	大学教育学部准教授	助言者
	まちづくり協議会会長	学校評議員
	公民館長	
	主任児童員	
	本校PTA会長	保護者代表
	幼稚園長	連携校教職員
	小学校教諭	
	中学校教頭	
	市教育委員会指導主事	設置者（助言者）

「学校（園）経営の方針」のモデル

【様式 2】

平成 年度 学校（園）経営の方針

松阪市立 学校（幼稚園）

めざす学校像

自他を認め合い、自他を高め合う学校

あいさつが飛び交い、人との絆の中で学ぶ学校

現状と課題

（１）近年、社会環境や養育環境が大きく変化することにより子どもたちの生活体験が不足し、自己肯定感の低下、人間関係形成能力の低下が課題となっている。

（２）・・・

「めざす学校像」を実現するため、数年後の到達イメージを明示した具体的な重点目標

重点目標

（１）「授業づくり」や「学級づくり」の実践研究を深め、コミュニケーション能力を育成する。

（２）地域と協働し、信頼され開かれた「学校づくり」を推進する。

（３）・・・

（４）・・・

「重点目標」を実現するため、本年度実施する具体的な行動計画を明確化します。教職員が意識的に取り組むことが可能な程度に精選します。

具体的行動計画

（１）コミュニケーション能力の育成

小集団学習を活用した授業づくりを積極的にすすめる。

グループエンカウンター等の指導により、親和的な学級集団づくりをすすめる。

ＱＵを活用し、学級の現状に適した指導を実践する。

（２）開かれた学校づくりの推進

学校参観週間等を通じて、積極的に保護者や地域に学校を公開する。

ホームページや学校だより等を通じて、積極的に学校の情報を発信する。

学校支援ボランティアとして、保護者や地域の方々の教育力を活用する。

（３）・・・

・・・

・・・

・・・

（４）・・・

評価指標・目標設定のモデル

【様式 3】

平成 年度 評価指標と達成目標の設定

松阪市立 学校（幼稚園）

めざす学校像	自他を認め合い、自他を高め合う学校 あいさつが飛び交い、人との絆の中で学ぶ学校	
重点目標	(1)「授業づくり」や「学級づくり」の実践研究を深め、コミュニケーション能力を育成する。 (2)地域と協働し、信頼され開かれた「学校づくり」を推進する。 (3)・・・ (4)・・・	
項目	具体的な評価内容	評価指標・達成目標
能力の育成 コミュニケーション	小集団学習を積極的に活用した授業づくりをすすめているか。 グループエンカウンター等の指導により、親和的な学級集団づくりをすすめているか。 Q Uを活用し、学級の現状に適した指導はできているか。	(生徒アンケート)「学校の勉強には自分から進んで取り組んでいる。」 「(とても・少し)そう思う」70%以上 Q Uの学級満足度尺度結果 「満足群」の割合50%以上 Q Uの学級満足度尺度結果の1回目と2回目の比較 「満足群」の増えた学級が、50%以上
開かれた学校づくり	授業参観等を通じ、積極的に保護者や地域に学校を公開しているか。 HPや学校だよりを通じ、積極的に学校の情報を発信しているか。 学校支援ボランティアとして、保護者や地域の方々の教育力を活用しているか。	授業参観と文化祭の来校者数 参観者名簿の年間来校者数500名以上 (保護者アンケート)「学校の様子はよくわかりますか。」 「(とても・少し)そう思う」70%以上 地域の方を指導者に迎えた学習活動 年間実施回数5回以上

設定する。
重点目標を評価項目として

「具体的行動目標」が達成しているかどうかを問うように評価内容を設定する。

できる限り、具体的かつ明確な目標を設定する。
 評価指標には、客観的なデータが得られるものを設定することが望ましい。

第1回学校関係者評価委員会のモデル

評価者の構成

【A 幼稚園の場合】

- ・ A 公民館長
- ・ A 町自治会長
- ・ P T A 幼稚園部長
- ・ B 小学校教職員
- ・ 指導主事

【B 小学校の場合】

- ・ 学校評議員
- ・ P T A 会長
- ・ A 幼稚園教職員
- ・ C 中学校教職員
- ・ D 小学校教職員
- ・ 指導主事

【C 中学校の場合】

- ・ 学校評議員
- ・ P T A 会長
- ・ B 小学校教職員
- ・ D 小学校教職員
- ・ 指導主事

学校（園）側の参加者

学校評価推進委員：校（園）長、教頭、校務分掌代表者等

すすめ方

学校長あいさつ

自己紹介

報告事項

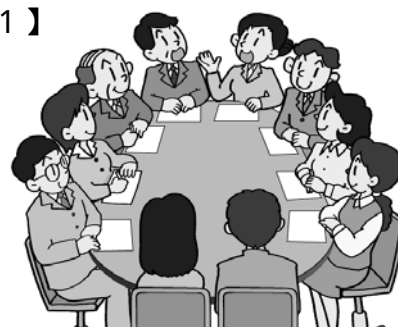
- ・ 昨年度の学校評価について【昨年度の様式 6 など】

説明事項

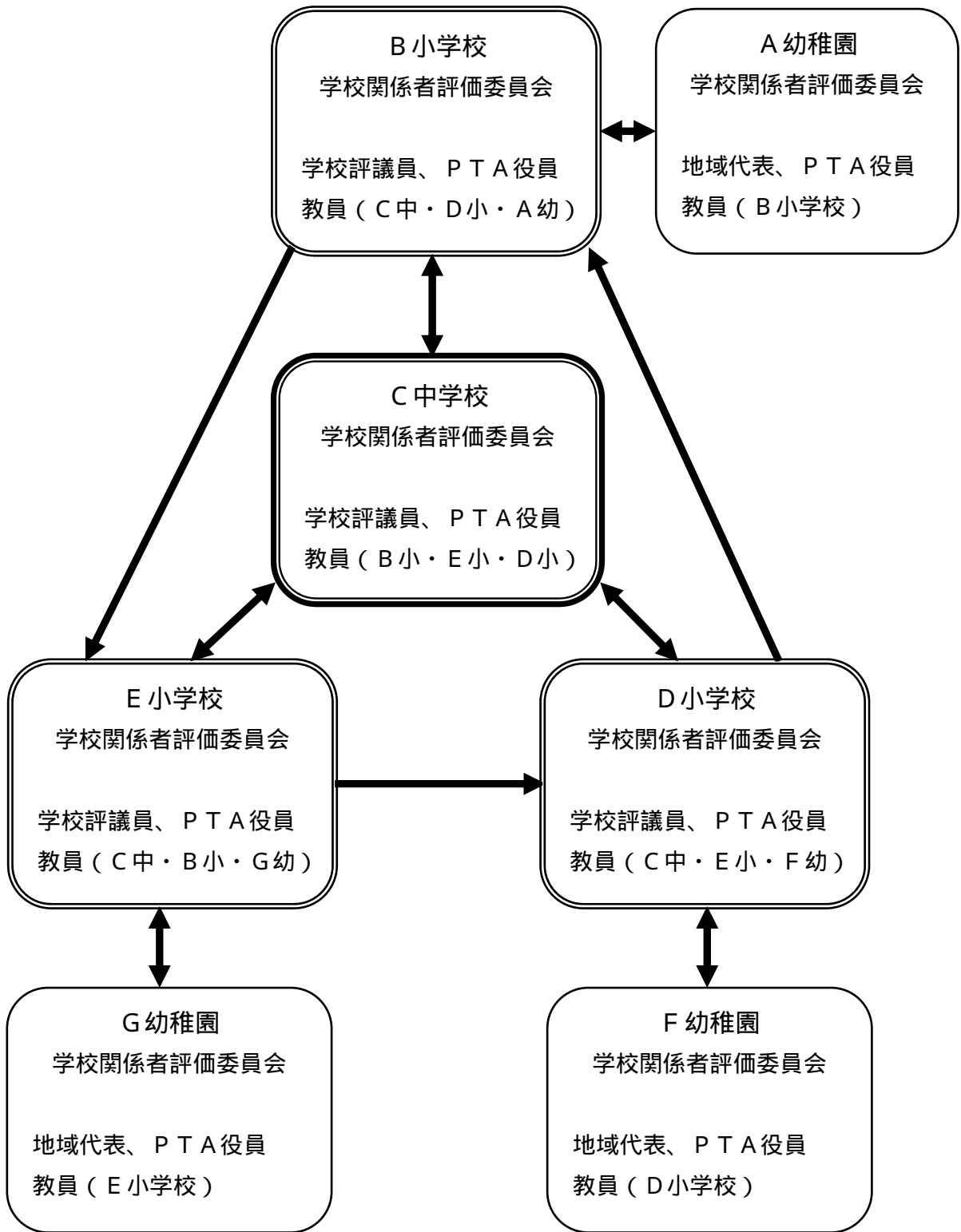
- ・ 本年度の学校評価年間実施計画について【様式 1】
- ・ 学校経営の方針について【様式 2】
- ・ 評価指標と達成目標の設定について【様式 3】
- ・ 外部アンケートについて

意見交流

ある学校において、自己紹介の際に、「本校教育への想い」を一言ずつ添えていただいたところ、あとの話し合いで改善に向けた前向きな意見が交わされました。



幼小中連携における学校関係者評価の構成モデル



学校評価と教育実践の関連モデル

自己評価と教育活動との関連

子どもたちの学習定着状況、活動意欲や満足感などを測る客観的データ

- ・ 教科指導の改善に必要な実態把握のために行っている「標準学力検査」や「運動・体力調査」を自己評価における評価指標として活用する。
- ・ 学級指導の改善に必要な実態把握のために行っている「学級満足度尺度調査」等を自己評価における評価指標として活用する。

そのほか、よく自己評価に活用されるデータ

- ・ 授業参観や文化祭などの学校行事の参観者名簿の記載者数
- ・ ホームページのアクセス数
- ・ 学校（園）だよりなど通信の発行回数
- ・ 読書室の書籍の貸し出し数
- ・ 研究授業等の実施回数
- ・ 地域の方が授業や学校行事等に参画していただく教育活動の回数
- ・ 不登校児童生徒数や問題行動の発生状況 など

学校関係者評価との教育活動の関連

学校評議員（地域住民）やPTA会長（保護者）には、

- ・ 入学式や卒業式に出席していただく。
- ・ 公開授業や文化祭などを参観していただく。
- ・ 登下校や地域行事の活動の様子を見ていただく。 など

幼小中連携校の教職員には、

- ・ 異校種間の交流授業などの様子を見ていただく。
- ・ 中学校区公開授業などの様子を見ていただく。
- ・ 人権フォーラムなど中学校区での行事の様子を見ていただく。 など

助言者（大学教員などの有識者）や市教委指導主事等には、

- ・ 研究授業等や校（園）内研修会において、指導助言を受ける。 など

外部アンケートのモデル

学校評価支援システムの活用

学校評価支援システム

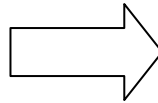
検索

ソフトウェアは、インターネット上で処理するオープンソースのフリーソフトです。「使い方ガイド」もあり、とてもわかりやすいです。

<http://smp.sfc.keio.ac.jp/sess2009/>

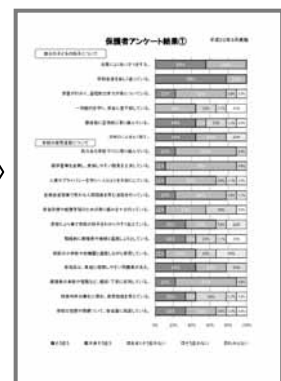
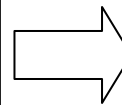
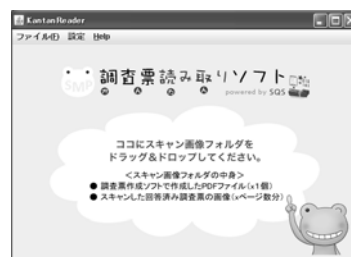
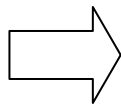
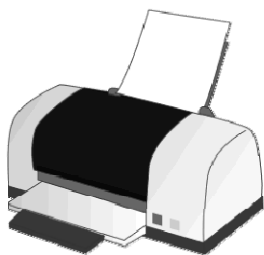


調査票作成ソフトでアンケート用紙を作成（作業時間：約30分）



アンケートを実施する。

スキャナーと読み取りソフトで処理したデータをグラフ作成ファイルに貼り付ければできあがります。（作業時間：500人規模で約2時間）



アンケート依頼文（表面）

平成 年 月 日

保護者の皆様

松阪市立 学校（幼稚園）

アンケートについてのお願い

厳しい寒さが続いています。保護者の皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校（園）教育活動に深いご理解と多大のご支援を賜りありがとうございます。

さて、これまで、さまざまな機会に保護者の皆様方から学校に対してのご意見をいただくことで、日々の教育活動を振り返り見つめ直す機会とさせていただいてまいりました。

つきましては、改めて、保護者の皆様が、学校（園）のことやお子様のことをどう捉えてみえるのかアンケートをとらせていただき、今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。何かとご多用のところ申しわけございませんが、下記の要領で裏面のアンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

記

- 1．適当と思われる箇所1つにHB鉛筆でマークしてください。
- 2．本年度の内容についてお答えください。
- 3．アンケートはお子様1人につき1枚お願いいたします。（2人あれば2枚、3人あれば3枚お願いいたします。）
- 4．提出方法 お渡ししたクリアケースに入れて、担任あて提出してください。
- 5．締切日 月 日（ ）

マークシートアンケート用紙（裏面）

★マークのしかた



平成22年度 学校評価アンケート（保護者用）

以下のそれぞれの質問で、あてはまるもの一つにマークをしてください。

以下の各項目について、「そう思うか（適合度）」をお答えください。

(1) 自分の子どもの様子について

	適合度				
	そう思う	大体そ う思う	あまりそ う思わない	そう思 わない	わからない
1 自分から進んであいさつをする。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 学校生活を楽しく送っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 学習がわかり、基礎的な学力が身についている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 交通ルールを守って安全に通学している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 学校行事や諸活動に意欲的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 学校でのできごとをよく話す。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 自分や友だちを大切にしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) 本校の教育活動について

	適合度				
	そう思う	大体そ う思う	あまりそ う思わない	そう思 わない	わからない
1 魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 班学習等を活用し、参加しやすい授業を工夫している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 子どもたち一人ひとりを大切にしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 コミュニケーション能力を育む活動を行っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 子どもたちは先生に相談しやすい雰囲気がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 健康管理のための取り組みを十分行っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 気軽に来校しやすい雰囲気がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 保護者や地域と連携した教育をすすめている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 学校の様子は学校だより等でわかりやすく伝わっている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 校区の学校、幼稚園と連携しながら教育している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 教職員は、保護者への対応に誠意があり、相談しやすい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 災害時の対応など安全教育が、十分に行われている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 校舎内外の整備・美化に努め、教育環境を整えている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 安心して子どもを学校に通わせることができている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

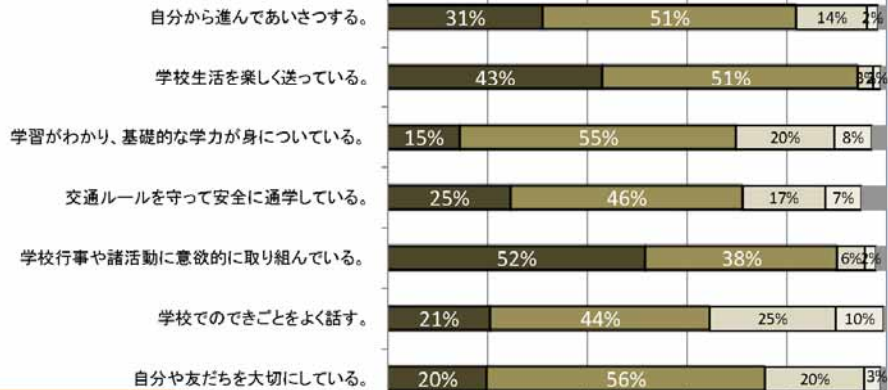
集計ファイルで作成されたグラフ

平成〇〇年〇〇月実施

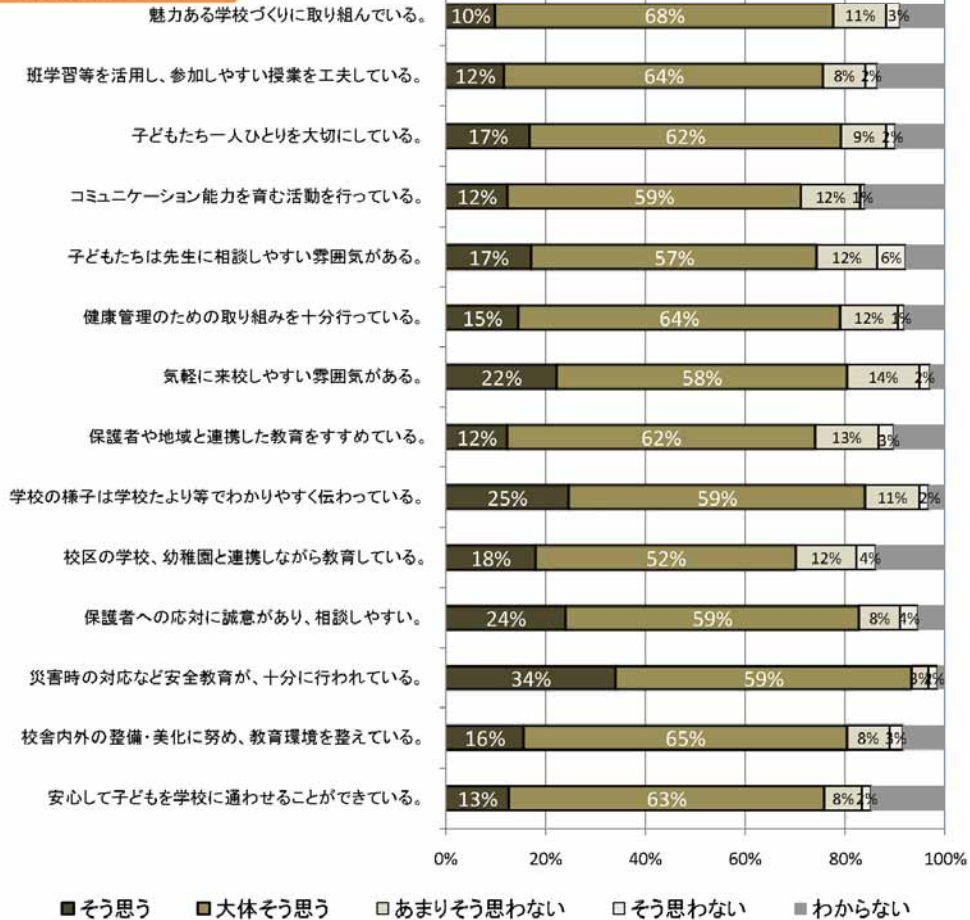
保護者アンケート結果

松阪市立 〇〇学校

子どもの様子について



教育活動について



0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ そう思う ■ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない ■ わからない

集計ファイルで作成された平均値一覧表

平成〇〇年〇〇月 実施

保護者 アンケート結果

松阪市立 〇〇学校

※満点は4.01

No.	質問内容	平均値	目標値
1	自分から進んであいさつする。	3.13	3.5
2	学校生活を楽しく送っている。	3.38	3.5
3	学習がわかり、基礎的な学力が身についている。	2.79	3.0
4	交通ルールを守って安全に通学している。	2.93	3.0
5	学校行事や諸活動に意欲的に取り組んでいる。	3.43	3.0
6	学校でのできごとをよく話す。	2.76	3.0
7	自分や友だちを大切にしている。	2.93	3.0
8	魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	2.93	3.0
9	班学習等を活用し、参加しやすい授業を工夫している。	2.98	3.0
10	子どもたち一人ひとりを大切にしている。	3.05	3.5
11	コミュニケーション能力を育む活動を行っている。	2.99	3.0
12	子どもたちは先生に相談しやすい雰囲気がある。	2.93	3.0
13	健康管理のための取り組みを十分行っている。	3.01	3.0
14	気軽に来校しやすい雰囲気がある。	3.04	3.0
15	保護者や地域と連携した教育をすすめている。	2.93	3.0
16	学校の様子は学校たより等でわかりやすく伝わっている。	3.11	3.0
17	校区の学校、幼稚園と連携しながら教育している。	2.98	3.0
18	教職員は、保護者への対応に誠意があり、相談しやすい。	3.09	3.0
19	災害時の対応など安全教育が、十分に行われている。	3.28	3.0
20	校舎内外の整備・美化に努め、教育環境を整えている。	3.02	3.0
21	安心して子どもを学校に通わせることができる。	3.02	3.5

項目別に担当分掌で行う評価のモデル

【様式 4】

項目別自己評価シート

担当【 研究推進部会 】

評価項目	コミュニケーション能力の育成	総合評価	
			4
	小集団学習を活用し、児童生徒は積極的に授業に参加できたか。		4
	グループエンカウンター等を活用し、親和的な学級集団づくりはできたか。		4
	Q Uを活用し、学級の現状に適した指導ができたか。		3
評価指標の達成状況	<p>生徒アンケートの「学校の勉強には自分から進んで取り組んでいる」の回答率が9月実施アンケートで「だいたいそう思う」と「そう思う」が80% 1月実施アンケートでは85%であった。(目標70%以上)</p> <p>2回目のQ Uの結果、各学年、各学級の「満足群」の生徒の平均が60%であった。(目標50%以上)</p> <p>2回目のQ Uで1回目より「学級満足群」の生徒の増えた学級は、50%であった。(目標50%以上)</p>		
成果	<p>職員の中で小集団を活用した授業への意識は高まっており、生徒たちがかわり合いながら学び合う姿をみることもできた。</p> <p>第2回目実施のQ Uで満足群が減少している学年もあったが、2回とも全学年満足群が50%を超えており、ソーシャルスキルを活用してそれぞれの学年、学級の課題に取り組んだ。</p>		
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> 小集団を活用した授業が定着しつつあるが、まだまだ学び合うという理想の姿には遠い時も多い。また時間的な拘束により、小集団を活用できないこともある。小集団学習の基本はペア学習であり、コミュニケーション力をつけるため、1年生の教室の座席の配置は、日頃からペアにしていく。 Q Uの満足群が1回目より2回目の方が下がっている学級がいくつかあった。生徒の現状を見ながら学年としてソーシャルスキルなどの取組を進めていく必要がある。 		



このように校務分掌や、校内研修組織の部会ごとに評価をおこなったのちに学校全体としての自己評価をおこなうことにより、各教職員の学校経営に対する参画意識が高まっています。

第2回学校関係者評価委員会のモデル

評価者の構成

第1回の学校関係者評価の評価者 + 校内研修会等で指導を受けている専門家

「学校評価ガイドライン」(文部科学省 平成22年7月22日) 29P

(5) 第三者評価 第三者評価の実施体制

具体的な実施体制については、地域や学校の実情等に応じて、次のような取組を含め柔軟に対応することが考えられる。

(ア) 学校関係者評価の評価者の中に、学校運営に関する外部の専門家を加え、学校関係者評価と第三者評価の両方の性格を併せ持つ評価を行う

(イ) 例えば中学校区単位などの、一定の地域内の複数の学校が協力して、互いの学校の教職員を第三者評価の評価者として評価を行う

評価者から意見を活発にいただくポイント

説明資料はできる限り少なくする。

【様式 2】、【様式 5】、外部アンケート結果

説明資料の文字はできる限り大きくする。

説明資料は、できる限り事前に評価者に送付しておく。

説明する者と進行する者を分ける。

同一であると、一人ですすめてしまう傾向が強いように思われます。

外部の専門家には、最後に総括的な助言をいただくより、機に応じてコメントをいただく。

専門家の助言に誘発されて発言される方も多かったです。

学校関係者評価の説明資料

【様式 5】

平成 年度 学校評価書

めざす学校像	<p>自他を認め合い、自他を高め合う学校</p> <p>あいさつが飛び交い、人との絆の中で学ぶ学校</p>	
項目	具体的な評価内容	評価指標・達成目標
能力の育成 コミュニケーション	<p>小集団学習を積極的に活用した授業づくりをすすめているか。</p> <p>グループエンカウンター等の指導により、親和的な学級集団づくりをすすめているか。</p> <p>QUを活用し、学級の現状に適した指導はできているか。</p>	<p>(生徒アンケート)「学校の勉強には自分から進んで取り組んでいる。」</p> <p>「(とても・少し)そう思う」70%以上</p> <p>QUの学級満足度尺度結果</p> <p>「満足群」の割合50%以上</p> <p>QUの学級満足度尺度結果の1回目と2回目の比較</p> <p>「満足群」の増えた学級が、50%以上</p>
開かれた学校づくり	<p>授業参観等を通じ、積極的に保護者や地域に学校を公開しているか。</p> <p>HPや学校だよりを通じ、積極的に学校の情報を発信しているか。</p> <p>学校支援ボランティアとして、保護者や地域の方々の教育力を活用しているか。</p>	<p>授業参観と文化祭の来校者数</p> <p>参観者名簿の年間来校者数500名以上</p> <p>(保護者アンケート)「学校の様子はよくわかりますか。」</p> <p>「(とても・少し)そう思う」70%以上</p> <p>地域の方を指導者に迎えた学習活動年間実施回数5回以上</p>
自己評価		
成果 (強み)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、元気のあるあいさつを交わしている。 多くの子どもが「学校生活は楽しい」と感じている。 子どもたちと地域の方とつながる機会が増えてきている。 	
課題 (弱み)	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで意見を述べたり、質問したりするなどの姿勢が弱い。 一列励行など交通ルールが守られていない。 家庭学習が習慣となっている子どもが少ない。 	
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 小集団を活用した授業の取り組みをすすめ、コミュニケーション力をつける。 交通安全指導の機会や登下校指導の機会を増やし、また日常の指導に重点を置く。 家庭学習の習慣をつける。 	

- ・用紙のサイズは「A3」となります。
- ・「めざす学校像」「重点目標」は【様式 2】から、「評価項目」「評価指標・達成目標」は【様式 3】から複写します。

松阪市立 学校（幼稚園）

重点目標	<p>(1)「授業づくり」や「学級づくり」の実践研究を深め、コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>(2)地域と協働し、信頼され開かれた「学校づくり」を推進する。</p> <p>(3)・・・</p> <p>(4)・・・</p>
------	--

自己評価・達成状況	学校関係者評価
<p>(生徒アンケート)「授業に意欲的に取り組んでいる」 85%</p> <p>QUの学級満足度尺度結果が各学年・各学級60%前後(全国平均35%)</p> <p>各学年でQUを分析し、指導主事を招聘した研修会やグループエンカウターの講習会を開催した。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>この欄には、それぞれの評価項目について、評価者からいただいた意見を記録します。</p> </div>
<p>授業参観、授業公開週間、校内陸上大会の参加者の合計が650名程度</p> <p>(保護者アンケート)「学校の様子が変わる」84%</p> <p>職場体験等で地域の教育力を活用している。</p> <p>地域の方を指導者に迎えた学習活動を8回実施できた。</p>	

学校関係者評価

学校関係者評価において、この空欄部分は評価者のメモ欄として利用していただくことができます。

「強み」とも「弱み」ともとれる意見も多いので、ここの箇所は罫線がない方が扱いやすかったです。



学校評価書のモデル

【様式 5】

平成 年度 学校評価書

めざす学校像	自他を認め合い、自他を高め合う学校 あいさつが飛び交い、人との絆の中で学ぶ学校	
項 目	具体的な評価内容	評価指標・達成目標
能力の育成 コミュニケーション	小集団学習を積極的に活用した授業づくりをすすめているか。 グループエンカウンター等の指導により、親和的な学級集団づくりをすすめているか。 Q Uを活用し、学級の現状に適した指導はできているか。	(生徒アンケート)「学校の勉強には自分から進んで取り組んでいる。」 「(とても・少し) そう思う」70%以上 Q Uの学級満足度尺度結果 「満足群」の割合50%以上 Q Uの学級満足度尺度結果の1回目と2回目の比較 「満足群」の増えた学級が、50%以上
開かれた学校づくり	授業参観等を通じ、積極的に保護者や地域に学校を公開しているか。 H Pや学校だよりを通じ、積極的に学校の情報を発信しているか。 学校支援ボランティアとして、保護者や地域の方々の教育力を活用しているか。	授業参観と文化祭の来校者数 参観者名簿の年間来校者数500名以上 (保護者アンケート)「学校の様子はよくわかりますか。」 「(とても・少し) そう思う」70%以上 地域の方を指導者に迎えた学習活動 年間実施回数5回以上
自 己 評 価		
成果 (強み)	・子どもたちは、 <u>地域の方や来客者に対しても元気のあるあいさつを交わしている。</u> ・多くの子どもが「 <u>学校生活は楽しい</u> 」と感じている。 ・子どもたちと地域の方とつながる機会が増えてきている。	
課題 (弱み)	・ <u>自らの言葉で意見を述べたり、質問したりするスキルが十分に備わっていない。</u> ・ <u>一列励行など交通ルールが守られていない。</u> ・ <u>家庭学習が習慣となっている子どもが少ない。</u>	
改善策	・ <u>小集団を活用した授業の取り組みをすすめ、コミュニケーション力をつける。</u> ・ <u>「とまとーず」など交通安全指導の機会を増やし、登下校など日常の指導を充実する。</u> ・ <u>家庭学習の習慣をつけるための方策を家庭や中学校区の連携校と検討する。</u>	

- ・学校関係者評価における評価・意見をまとめて記入します。
- ・自己評価の内容についても、学校関係者評価において受けた評価・意見をもとに下線部のように必要があれば改めます。

松阪市立 学校（幼稚園）

重点目標	(1)「授業づくり」や「学級づくり」の実践研究を深め、コミュニケーション能力を育成する。 (2)地域と協働し、信頼され開かれた「学校づくり」を推進する。 (3)・・・ (4)・・・
------	---

自己評価・達成状況	学校関係者評価
(生徒アンケート)「授業に意欲的に取り組んでいる」 85% QUの学級満足度尺度結果が各学年・各学級60%前後(全国平均35%) 各学年でQUを分析し、指導主事を招聘した研修会やグループエンカウターの講習会を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色は小集団を活用した授業の取り組みにある。ペア学習が基本となり、ペアを2組つなぎ、4人班とし、それを基盤として学級をつなぎ合う。 ・小集団学習をなぜ行うのかを生徒や保護者に説明することにより、実のあるものになると思う。 ・QUを始めた当時の満足度40%であったが本年度は60%となっている。成果が出ている要因は3つ考えられる。1つは、小集団を活用した授業の取り組み、2つは、ライフスキルプログラムの活用、3つは、幼小中連携教育への取り組みだと思う。これは、学びでつながる、人と人がつながる、学校どうしがつながるとい、「つながり」を大切にした実践の成果であると思う。 ・「仲間はずれやいじめられたりしていない」では、93%の生徒は肯定しているが、残りの7%の生徒がそう感じていない。その子たちに寄り添った取組も大切である。
授業参観、授業公開週間、校内陸上大会の参加者の合計が650名程度 (保護者アンケート)「学校の様子がわかる」84% 職場体験等で地域の教育力を活用している。地域の方を指導者に迎えた学習活動を8回実施できた。	

学校関係者評価

- ・登下校の時も子どもたちはとても気持ちの良い挨拶をしてくれる。
- ・具体的に何か目的をもって地域の方と交流する機会が増えればさらに良いと思う。
- ・日常の交通安全指導だけでなく、警察の交通課や「とまとーず」などによる交通安全教室を実施すると子どもたちの意識も高まる。
- ・データ結果などの情報を広く地域に発信することをどんどんしてほしい。
- ・家庭学習の習慣は学校の取組だけで定着できるものではない。
- ・学校の目指すところは、落ち着いた安心した学校であること。それは、子どもにとって学びがいがあり、教員にとって働きがいがあり、親にとって通わせがいがあることである。
- ・「生徒の質問する姿勢が弱い」ことを生徒の問題としてとらえるのではなく、授業においてそのスキルを身につけることを考える。

学校関係者評価を行わない（自己評価のみ）場合

【様式 6】

平成 年度 自己評価書

松阪市立 学校（幼稚園）

重点目標	(1)「授業づくり」や「学級づくり」の実践研究を深め、コミュニケーション能力を育成する。 (2)地域と協働し、信頼され開かれた「学校づくり」を推進する。 (3)・・・ (4)・・・	
項目	具体的な手だて	指標と達成状況（評価）
能力の育成 コミュニケーション	小集団学習を積極的に活用した授業づくりをすすめているか。 グループエンカウンター等の指導により、親和的な学級集団づくりをすすめているか。 Q Uを活用し、学級の現状に適した指導はできているか。	(生徒アンケート)「授業に意欲的に取り組んでいる」 85% Q Uの学級満足度尺度結果が各学年・各学級60%前後(全国平均35%) 各学年でQ Uを分析し、指導主事を招聘した研修会やグループエンカウンター講習会を開催した。
開かれた学校づくり	授業参観等を通じ、積極的に保護者や地域に学校を公開しているか。 H Pや学校だよりを通じ、積極的に学校の情報を発信しているか。 学校支援ボランティアとして、保護者や地域の方々の教育力を活用しているか。	授業参観、授業公開週間、校内陸上大会の参加者の合計が650名程度 (保護者アンケート)「学校の様子がわかる」84% 職場体験等で地域の教育力を活用している。地域の方を指導者に迎えた学習活動を8回実施できた。
・ ・ ・	・・・ ・・・ ・・・	・・・ ・・・ ・・・
・ ・ ・	・・・ ・・・ ・・・	・・・ ・・・ ・・・
成果（強み）		
・子どもたちは、元気のあるあいさつを交わしている。 ・多くの子どもが「学校生活は楽しい」と感じている。 ・子どもたちと地域の方とつながる機会が増えてきている。		
課題（弱み）		
・自ら進んで意見を述べたり、質問したりするなどの姿勢が弱い。 ・一列励行など交通ルールが守られていない。 ・家庭学習が習慣となっている子どもが少ない。		
改善策		
・小集団を活用した授業の取り組みをすすめ、コミュニケーション力をつける。 ・交通安全指導の機会や登下校指導の機会を増やし、また日常の指導に重点を置く。 ・家庭学習の習慣をつける。		

結果の公表・説明・報告のモデル

公表

公表する内容：様式 5、(外部アンケート結果)

様式 2、学校プロフィール

公表する方法：報告書として配付、学校だよりに掲載、ホームページにアップ

「学校だより」など学校からの配布物を綴じたクリアファイルを公民館や郵便局、銀行、病院等の地域の人がよく集まる場所に置かせてもらったり、「公民館だより」や「まちづくり協議会だより」に「学校のコーナー」の欄を設けていただいたりすることで、学校にとっても公民館等にとっても有意義となる取組を行っている学校があります。



説明

説明する内容：様式 5、新年度の様式 2、(外部アンケート結果)

説明する機会：新年度の4月に開催されるPTA総会



設置者への報告

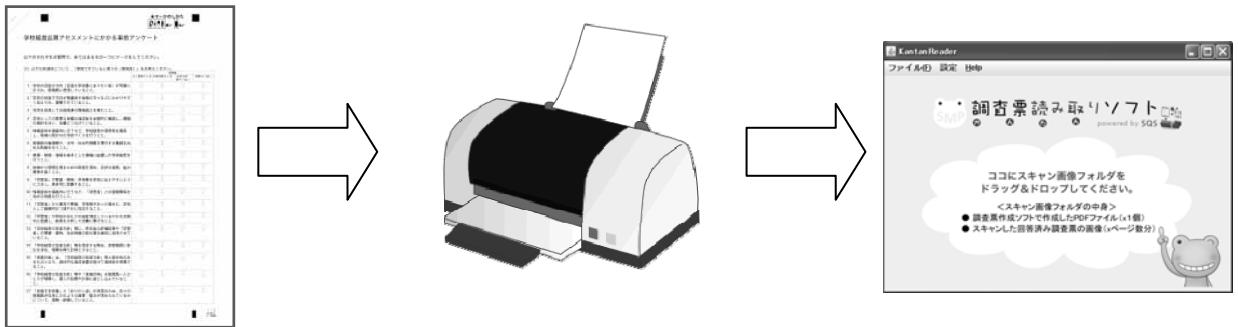
報告する内容：様式 1、様式 2、様式 5、(外部アンケート結果)

学校プロフィール、学校経営アセスメント結果

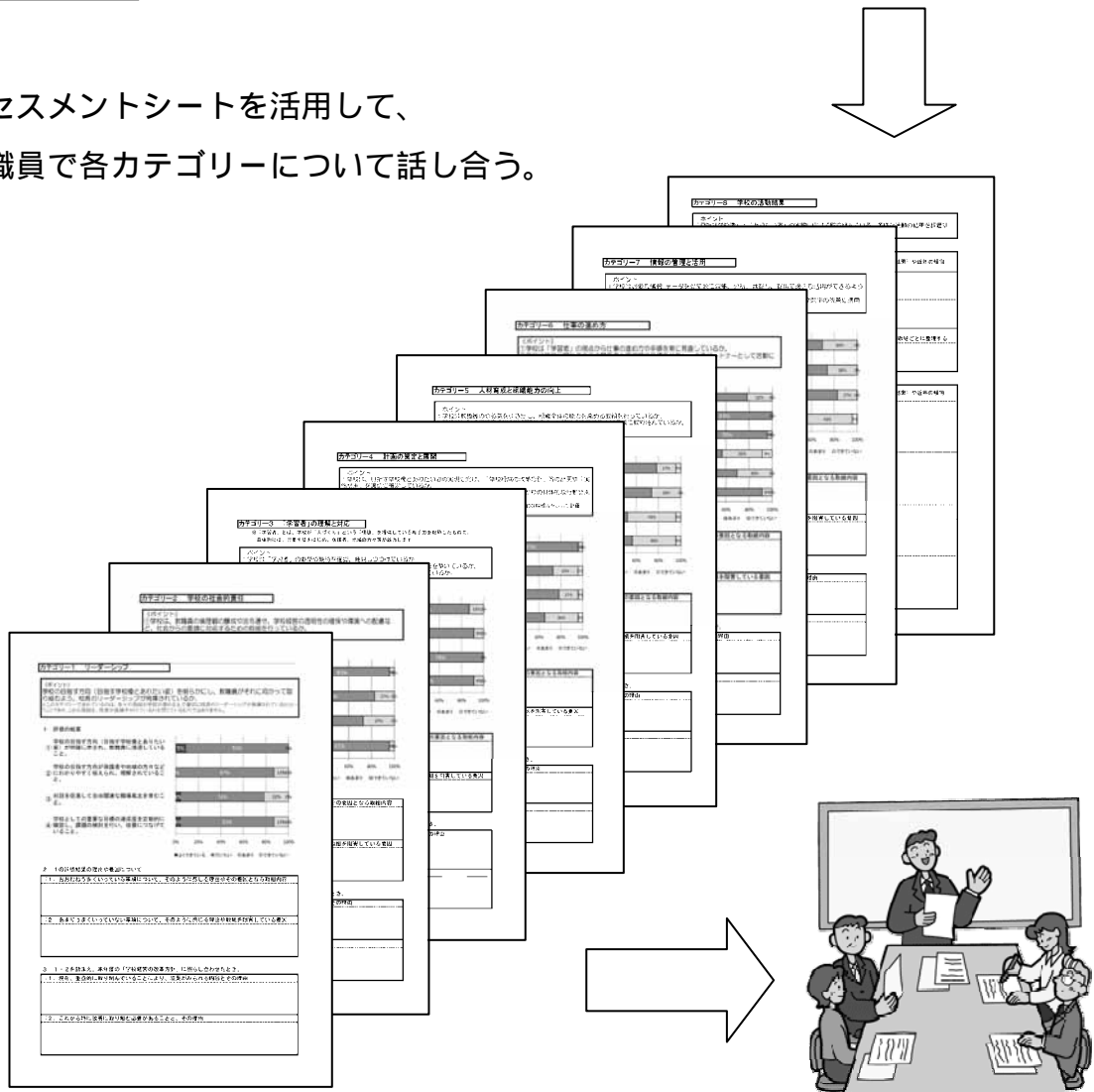
報告する時期：基本的に年度末までに

学校経営アセスメントのモデル

全職員がアセスメントの設問項目をマークシートで回答する。
スキャナーで読み取る。
学校評価支援システムの読み取りソフトでデータ化する。
のデータをアセスメントシート作成ファイルに貼り付ける。



アセスメントシートを活用して、
全職員で各カテゴリーについて話し合う。



マークシート用紙の表面

★マークのしかた



学校経営品質アセスメントにかかる事前アンケート

以下のそれぞれの質問で、あてはまるもの一つにマークをしてください。

(1) 以下の各項目について、「実現できていると思うか（実現度）」をお答えください。

		実現度			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1	学校の目指す方向（目指す学校像とありたい姿）が明確に示され、教職員に浸透していること。	○	○	○	○
2	学校の目指す方向が保護者や地域の方々などにわかりやすく伝えられ、理解されていること。	○	○	○	○
3	対話を促進して自由闊達な職場風土を育むこと。	○	○	○	○
4	学校としての重要な目標の達成度を定期的に確認し、課題の検討を行い、改善につなげていること。	○	○	○	○
5	情報提供を積極的に行うなど、学校経営の透明性を確保し、地域に開かれた学校づくりを行うこと。	○	○	○	○
6	教職員の倫理観や、法令・社会的規範を遵守する意識を高める取組を行うこと。	○	○	○	○
7	整理・整頓・清掃を基本とした環境に配慮した学校経営を行うこと。	○	○	○	○
8	地域から信頼を得るための取組を進め、良好な連携、協力関係を築くこと。	○	○	○	○
9	「学習者」が要望・期待・苦情等を学校に伝えやすいように工夫し、具体的に把握すること。	○	○	○	○
10	情報提供を積極的に行うなど、「学習者」との信頼関係を高める取組を行うこと。	○	○	○	○
11	「学習者」から意見や要望、苦情等があった場合に、学校として組織的かつ速やかに対応すること。	○	○	○	○
12	「学習者」が学校の何にどの程度満足しているのかを定期的に把握し、結果を分析して改善に繋げること。	○	○	○	○
13	「学校経営の改革方針」等に、昨年度の評価結果や「学習者」の要望・期待、社会情勢の変化等を適切に反映させていること。	○	○	○	○
14	「学校経営の改革方針」等を策定する際は、全教職員に参加を求め、理解を得た計画とすること。	○	○	○	○
15	「実施計画」は、「学校経営の改革方針」等と整合性のあるものとなり、具体的な達成目標を掲げて進捗度を把握すること。	○	○	○	○
16	「学校経営の改革方針」等や「実施計画」を教職員一人ひとりが理解し、個人の目標や計画に落とし込んでいること。	○	○	○	○
17	「目指す学校像」と「ありたい姿」の実現のため、各々の教職員が自身にどのような資質・能力が求められているかについて、理解・納得していること。	○	○	○	○

マークシート用紙の裏面

★マークのしかた



		実現度			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
18	組織全体の能力を高めるため、教職員同士の授業研究をはじめとした、OJT研修を日常的に行うこと。	○	○	○	○
19	全教職員の学校経営への参画意欲や貢献意欲を高めるため、教職員のやる気を引き出す工夫を講じること。	○	○	○	○
20	職員の満足度を定期的に把握し、満足要因・不満足要因を分析して改善につなげること。	○	○	○	○
21	各分学・学年・教科等が連携・協力を意識し、よりよい仕事を進めるため、改善に取り組むこと。	○	○	○	○
22	わかりやすい授業を行うため、指導計画や指導方法の研究・改善に、学校全体として取り組むこと。	○	○	○	○
23	いじめ、不登校、学級崩壊等の学校の課題に対し、学級、学年、分学を越えて組織的に対応すること。	○	○	○	○
24	多忙化解消のために、業務や会議等の精選や効率化などに取り組むこと。	○	○	○	○
25	事故・災害等のリスクに対し、迅速かつ適切な対応が行える体制が整備され、全教職員に徹底されていること。	○	○	○	○
26	地域、関係機関などのパートナーとの連携を常に意識し、協力関係を維持・向上させていること。	○	○	○	○
27	学校にとって必要な情報・データを的確に収集し、わかりやすく分類し、教職員が共有し活用できる状態になっていること。	○	○	○	○
28	収集した情報・データを適正に管理し、定期的に検証して適切に更新していること。	○	○	○	○
29	個人情報等の機密情報が適正に管理、活用されるよう、情報セキュリティやマニュアル化等の対策が講じられていること。	○	○	○	○
30	優れた取組を行っている事例の研究を、ベンチマーキングなどを活用して積極的に行い、学校経営の改善に活用すること。	○	○	○	○

(2) 【自由記述設問】ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

參考資料

【様式 1】

平成 年度 学校評価年間実施計画書

松阪市立 学校（幼稚園）

年間計画

4月	
5月	
6月	
7月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

学校関係者評価の評価者

名 前	所属・役職	備 考

【様式 2】

平成 年度 学校（園）経営の方針

松阪市立 学校（幼稚園）

めざす学校像

現状と課題

（ 1 ）

（ 2 ）

重点目標

（ 1 ）

（ 2 ）

（ 3 ）

（ 4 ）

具体的行動計画

（ 1 ）

（ 2 ）

（ 3 ）

（ 4 ）

【様式 3】

平成 年度 評価指標と達成目標の設定

松阪市立 学校（幼稚園）

めざす学校像		
重点目標	(1) (2) (3) (4)	
項目	具体的な評価内容	評価指標・達成目標

【様式 4】

項目別自己評価シート

担当【 】

評価項目		総合評価	
評価指標の達成状況			
成果			
課題と改善策			

平成〇〇年度 学校評価書

松阪市立 学校（幼稚園）

めざす学校像	具体的な内容	評価指標・達成目標	重点目標	(1) (2) (3) (4)	学校関係者評価	
					自己評価・達成状況	学校関係者評価
項目	① ② ③	① ② ③	① ② ③		自己評価・達成状況	学校関係者評価
	① ② ③	① ② ③	① ② ③			
	① ② ③	① ② ③	① ② ③			
	① ② ③	① ② ③	① ② ③			
成果 (強み)					自己評価	
課題 (弱み)					学校関係者評価	
改善策						

【様式 6】

平成 年度 自己評価書

松阪市立 学校（幼稚園）

重点目標	(1) (2) (3) (4)	
項目	具体的な手だて	指標と達成状況（評価）
成果（強み）		
・ ・ ・		
課題（弱み）		
・ ・ ・		
改善策		
・ ・ ・		

松阪市学校評価実施要項

松阪市教育委員会

1 趣旨

この要項は、「松阪市学校の管理に関する規則（第32条）」及び「松阪市立幼稚園管理規則（第22条）」に定める事項について示す。

2 目的

- (1) 各学校（以下、幼稚園を含む）が、自らの学校経営について方針を策定し、その達成状況や取組の適切さ等を評価することにより、学校として組織的・継続的に改善する。
- (2) 各学校が、評価結果を公表・説明することにより、適切に説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを推進する。

3 概要

- (1) 学校経営方針に即した評価項目を設定し、その評価指標として必要な情報や資料を活用し、自己評価を実施する。
- (2) 自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、保護者や地域住民等との共通理解と連携協力を図るため、学校関係者評価を実施するよう努める。
- (3) 学校評価の結果は、学校経営の改善に生かすとともに、保護者等に公表・説明し、市教育委員会に報告する。

4 運営

- (1) 学校評価を計画的・効果的に行うため学校評価推進委員会等を設置するよう努める。
 - ・ 推進委員会等は、学校経営方針に基づいて評価項目・指標を設定する。
 - ・ 推進委員会等は、評価指標として必要な情報や資料を収集し、保護者等を対象とした外部アンケート、標準学力検査、学級満足度調査などを計画的に実施する。
 - ・ 推進委員会等は、評価結果を学校通信やホームページ等により公表する。
- (2) 各学校は、学校評議員、PTA役員、連携校職員等を評価者とし、学識経験者等を助言者とする学校関係者評価委員会を組織するよう努める。
 - ・ 評価者等の任期は、1年以内とし再任を妨げない。
 - ・ 評価者等は、学校行事等の教育活動を参観し、実態把握に努める。
 - ・ 評価者等は、職務上知り得た秘密を解任後も漏らしてはならない。
 - ・ 助言者等の謝金については、「特色ある学校づくり推進事業費」より支出できるものとする。
- (3) 学校評価を行うにあたっては、三重県型「学校経営品質」の理念や仕組みを基盤として行い、教職員・保護者・地域住民の対話を重視するとともに、定期的に取り組みの診断を行い改善活動の修正を図る。

附則 この要項は、平成23年4月1日より施行する。

松阪市立学校評議員制度実施要項

松阪市教育委員会

1 目的

- (1) 学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって、子どもの健やかな成長を担っていくため、児童生徒の実態や地域の実態に応じた特色ある学校づくりを展開する。
- (2) 校長のリーダーシップの下に、教育目標や教育計画など、保護者や地域住民に説明し、学校評議員の意見や助言を学校運営に反映させていく。

2 概要

- (1) 本制度は、松阪市立学校評議員設置規程により実施する。
- (2) 学校評議員は、校長の学校運営に関する権限と責任を前提として、校長の求めに応じ、一人ひとりがそれぞれの責任において意見を述べる。
- (3) 校長は、必要に応じ学校評議員が一堂に会して意見交換を行う機会を設けるなど、運営上の工夫を講じる。
- (4) 校長は、学校運営の基本方針や重要な活動に関する学校の教育目標や計画、教育活動の実施、学校と地域の連携の進め方などについて、意見を求める。

3 構成

- (1) 地域住民及び保護者
地域で教育や子どもたちの活動にかかわる自治会、公民館、学識者、企業、保護者、同窓会など、幅広い立場から人選する。
- (2) 選出と人数
各学校において校長が推薦し、松阪市教育委員会より委嘱をする。
人数は3人とし、男女両性を選出し、現職教職員は除外する。

4 運営

- (1) 校長や設置者等の権限を制約するような運営とならないよう留意する。
- (2) 活動回数は、年間2回以上とする。ただし、各学校評議員一律とは限らず、校長の求めに応じ、学校評議員の了解により、弾力的に運営できる。
- (3) 校長は、討議内容等を年度末に教育委員会へ報告する。
- (4) 報償費は、年間6,000円とし、年度末払いとする。

附則 平成17年1月1日より施行
平成22年4月1日改訂

参考とした資料・研究成果等

学校評価ガイドライン	(文部科学省)
幼稚園における学校評価ガイドライン	(文部科学省)
「学校経営の改革方針」ガイドライン	(三重県教育委員会)
学校評価支援システム	(慶應義塾大学SFC研究所)
本巢市の学校評価	(岐阜県本巣市教育委員会)
かつらぎ町の学校評価	(和歌山県かつらぎ町教育委員会)
天理市学校評価の手引き	(奈良県天理市教育委員会)

ご指導いただいた方 (五十音順：敬称略)

浅井 とくへ	(元公立学校教職員)
岡野 昇	(三重大学教育学部)
杉田 勝雄	(三重中京大学短期大学部)
田口 鉄久	(皇學館大学教育学部)
中山 善一	(元公立学校教職員)
松本 実	(三重中京大学短期大学部)
森脇 建夫	(三重大学教育学部)

平成22年度松阪市学校評価システム構築運営協議会委員 (敬称略)

松本 実	(三重中京大学短期大学部 教授)
吉田 浩久	(松阪市立東黒部小学校 校長)
平城 重喜	(松阪市立西黒部小学校 校長)
米倉 茂	(松阪市立機殿小学校 校長)
松本 吉弘	(松阪市立朝見小学校 校長)
福田 昭	(松阪市立掃水小学校 校長)
小林 正則	(松阪市立漕代小学校 校長)
中尾 悟	(松阪市立東部中学校 校長)
片谷 皇子	(松阪市立東部中学校 教諭)
福本 博	(三重県教育委員会事務局教育改革室 主査)
青木 俊幸	(松阪市教育委員会事務局学校支援課 生徒指導係長)

三重県教育委員会指定

平成22年度学校評価システム構築事業

「小中学校における学校評価システム構築のための実践研究事業」

学校評価システム構築モデル

平成23年3月 発行

松阪市教育委員会

【お問い合わせ先】

松阪市教育委員会事務局学校支援課

電話 0598-53-4386

e-mail gak.div@city.matsusaka.mie.jp
